

平成29年度予算

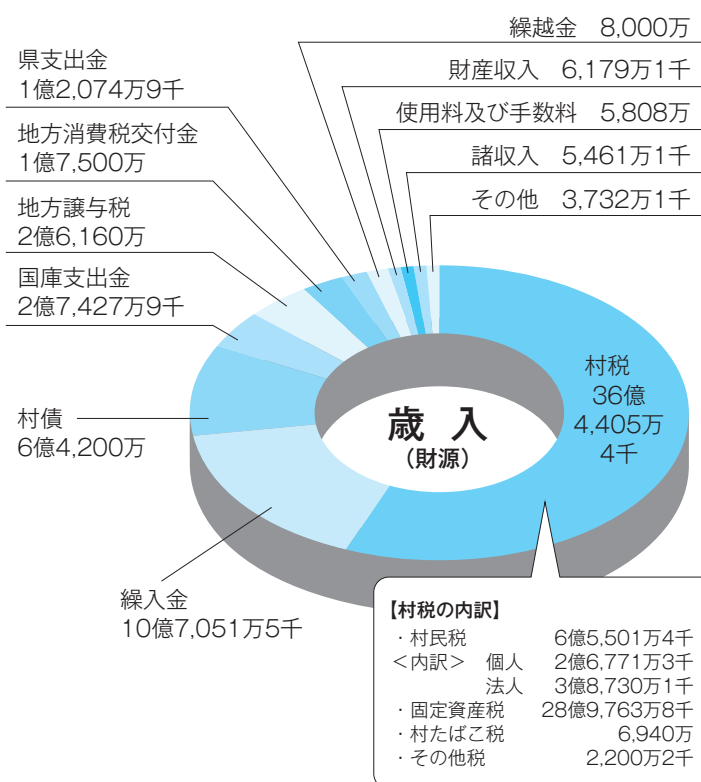
すこやかセンター大規模改修工事

8億4,000万円など

可決

8,000万円の内訳

(単位：円)



3月定例会のあらまし

3月定例会は、3月2日に招集され、3月17日までの16日間の会期で開かれました。

新年度予算7件をはじめ、条例制定1件、条例改正10件、条例の廃止1件、平成28年度の補正予算7件、工事契約1件、その他2件の29議案が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

また最終日には、人事案件1件、専決処分の承認1件、請願1件、一部事務組合協議会議員の選挙3件が追加提出され、請願が不採択のほかは、それぞれ選任・承認しました。

一般質問は、会期12日目(3月13日)に7人が当面する村政の問題をたきました。

新年度予算を

斬る!!

会 計 別		予算額(円)	対前年度比(%)
一 般 会 計		64億8,000万	149.31%
特 別 会 計	国民健康保険	6億1,500万	109.04%
	農業集落排水処理施設事業	2億7,274万3千	68.56%
	土地取得	1,073万9千	95.04%
	介護保険	4億7,536万	108.77%
	後期高齢者医療	6,248万8千	98.64%
	宅地造成事業	5,001万7千	56.58%
合 計		79億6,529万2千	134.96%

一般会計

観光交流協会

問 観光交流協会をつくっていききたいのとことだが、どういったものか。

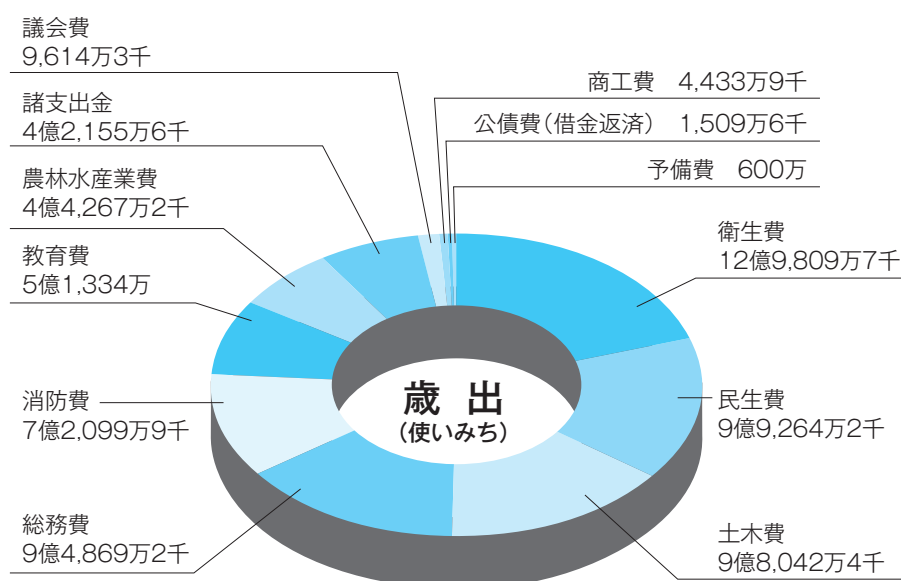
答 この地域に大きな影響のある日光川の排水機場や水閘門、臨海部の企業も含め観光に取り入れていけないか、また農産物の販売者の方々の思いを酌んだこれからのあり方、等々を準備委員会で論議していただき、その御意見をもとに観光交流協会を設立したい。

保育行政一体化

問 飛島村の保育所・保育園を一本化してこういう提案をしているのか。

答 小さな村で公立と私立で差が出てはいけない。予算をつけられ

一般会計予算 64億



か、村が責任をもってやるといことが、その方向性は。

答 公設民営がいいのか、公設公営がいいのか、幾つかの考え方があ

問 その一体化とは民間に任せるといこと

方が望ましいと言われているので、そうしたことも含めて論議を始めた。

すこやかセンター駐車場

問 すこやかセンター北側の駐車場の拡張を検討するとのことだが、どの程度の見通しをもっているのか。

答 すこやかセンターの駐車場は満杯状態で、また飛鳥学園の運動場を駐車場として使っていたがために運動場としての機能が悪化している。運動場の整備はしたとしてもまた繰り返しは1・2年のところだと考える。単価等については皆さん方と話し合い、助言・協力をお願いしたい。

メダカ

問 メダカの管理は施設によって違うのか。

答 公民館と敬老センターは以前から職員で管理している。役場は水槽をガラスでつくつ

ているので職員で管理している。すこやかセンターは水槽がアクリルで掃除の頻度から業者に委託する。



役場玄関のメダカ

総合体育館

問 体育館の冷房の話があったが、改修設計委託はどのようなものか。

答 非構造部材等の長寿命化の調査をし、それについてどのように改修していくかのための設計委託であり、空調に関しては入っていない。

ふれあいの郷

問 補修工事の内容説明をお願いしたい。

答 ろ過器でたまつたごみを逆流させ、浮かせて処理しているが、その逆洗装置が劣化しているため関係設備の更新をする。

カーペット等の張替
改修工事は敬老センターのロビーから東側の廊下や壁のクロスを張り替える。
靴箱改修工事は社会福祉協議会前の靴箱をふやす。



敬老センター和室前

公園用地

問 買収単価は今まで買収した公園を参考に決めて決めると考えてよいのか。

答 本来直近の類似の売買や路線価を参考にする。あとは土地の形状等で金額に補正が入るが、すべて加味した後、

村の土地評価委員会決定された額で交渉をする。

討論

反対：橋本 渉 議員
飛鳥村は豊かな財政を



新政神社東の公園用地

持っているので、住民負担軽減のため使うべきだと考える。村民が豊かな生活のできる施策を推し進めるべきだが不十分な予算となっているので反対する。

賛成：渡邊 一弘 議員

事業実施に伴い、事業の効果等の検討を重ね、村民が安心して安全な安定した生活ができること、並びに村民のニーズを的確に反映させ住民サービスを低下させることのないようお願い、経費節減を念頭に計画的、効率的な財政運営を強く要望し賛成する。

反対：鈴木 義男 議員

10年に一度使うかわからないかの津波用避難ビルよりも、分譲住宅が盛況であったので、村営の集合住宅を建て避難ビルに利用すれば、一石二鳥である。

(賛成7 反対2で可決)

特別会計

国民健康保険

問 国民健康保険は平成30年度から県に統一とはいふものの、保険料のあり方は自治体ごとである。統一になるにあたり算定した保険料は、将来的には145%まで上がるということになっている。なぜこういうことになるのか。

答 国保が広域化されることにより飛鳥村は愛知県に納付金を納めることになる。納付金の算定式にそれぞれの自治体の所得水準と医療費水準が使われる。飛鳥村はそのどちらも高いため高くなる。

問 一般会計からの繰り入れについてはどう考えているか。

答 平成30年度以降、一般会計繰入金は解消す

るよう指導を受けているので、順次解消していく方向になる。

討論

【反対】橋本 渉 議員

国民健康保険税は大変高く住民からは苦情が出ている。このような高すぎる保険税でなく、値下げをしていただきたいとの立場から反対する。

【賛成】小川 政徳議員

医療費は毎年増加傾向にあり、本来なら保険税を値上げして国保財政を維持するべきである。しかし、平成17年度以降国保税の引上げは実施しておらず、住民への負担軽減については、積極的に取り組まれている。今後医療費抑制のための保健事業の充実と国民健康保険の健全な運営を望み賛成する。

（賛成8反対1で可決）

農業集落排水処理施設事業

（全員賛成で可決）

土地取得

（全員賛成で可決）

介護保険

【問】保険給付費が4億2500万円組んでありこれまでで最高額だと思いが、29年度は使われるという、何か見通しがあるのか。

【答】サービス給付費は常に増加傾向にあり、28年度のサービス給付費の実績見込みと第6期介護保険計画で見込まれる増加率から計算している。

【問】介護保険料は平成27年度に大幅に値上げした。そのため黒字で基金に積むという状況がある。基金に積むのではなく保険料の値下げを検討していただきたいかがどうか。

【答】第6期に入り介護予防にも力を入れており、その影響か介護給付もそれなりに伸びは低く抑えられている。そういったことも踏まえ、保険料も検討したい。

討論

【反対】橋本 渉 議員

飛鳥の介護保険料は県内で一番高いと言われるほどである。ほかの方法で還元することもしているが、将来的にはぜひ値下げをするべきだと考えており反対する。

【賛成】鈴木 康祐議員

この予算は介護サービス事業にかかる様々な諸施策を実施するうえで必要な予算であり、地域包括支援センターの運営や介護予防事業にかかる費用を計上しているもので、適正かつ妥当なものと考える。29年度は第7期の計画策定の年であるので村民に対し十分に説明し、適正な介護保険の運営に努めることを要望し賛成する。

（賛成8反対1で可決）

後期高齢者医療

【問】この会計は村では自由に動かせない予算であるが、納付金の算定根拠はどのようになっているのか。

【答】皆様からいただいた保険料と一般会計からの基盤安定拠出金などをそのまま後期高齢者を医療広域連合へ納付金として納めている。

討論

【反対】橋本 渉 議員

この予算は村で自由になる予算ではないが、お年寄りにとっては医療を十分に受ける権利を阻害されている。こういった保険制度は間違っていると思うので反対する。

【賛成】井田 晴己議員

年々増加する高齢者の医療費を国民全員で支援し、また、高齢者の方々にも医療費の一部を負担していただくという、相互扶助ののちとした制度

である。高齢者の方々に安心して医療を受けていただくために必要な制度と考え賛成する。

（賛成8反対1で可決）

宅地造成事業

（全員賛成で可決）



渚地区住宅地